

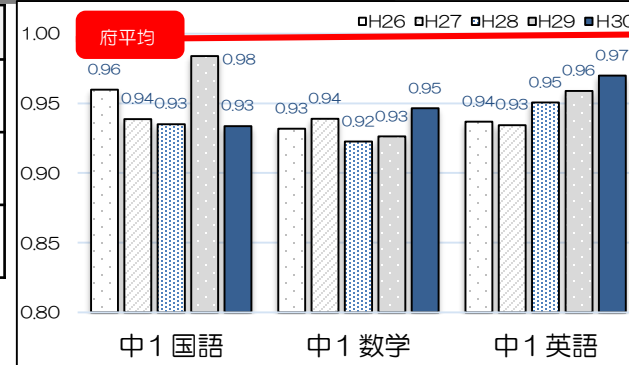
調査の概要

- 調査実施日 平成31年1月10日（木）
- 調査の目的
 - ◇大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
 - ◇市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
 - ◇学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
 - ◇生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。
- 調査内容
 - ◆学力に関する調査 1年生（国語・数学・英語） 2年生（国語・社会・数学・理科・英語）
 - ※2年生の社会・理科は各校の指導計画に応じて「A問題」と「B問題」から選択します。本市においては、今年度は、社会ではA問題を1校、B問題を4校が選択し、理科ではA問題を1校、B問題を4校が選択しました。学校別の平均点が特定されることから、2年生の社会と理科についての学力調査結果は記載していません。
 - ◆学習状況に関する調査（生徒アンケート）各教科2問ずつ
- 調査参加者 1年生（府全体 60,784人 うち、本市参加者 621人） 2年生（府全体 62,884人 うち、本市参加者 641人）
- ※教科や出題範囲が限られていることから、中学生チャレンジテストにより測定できるのは学力の特定の一部分です。

1年生

教科別平均点・対府平均比経年比較

	国語	数学	英語
本市平均点	52.5	58.0	60.1
大阪府平均点	56.2	61.3	62.0
対府平均比	0.93	0.95	0.97

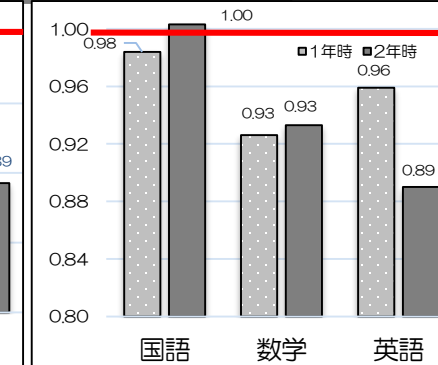
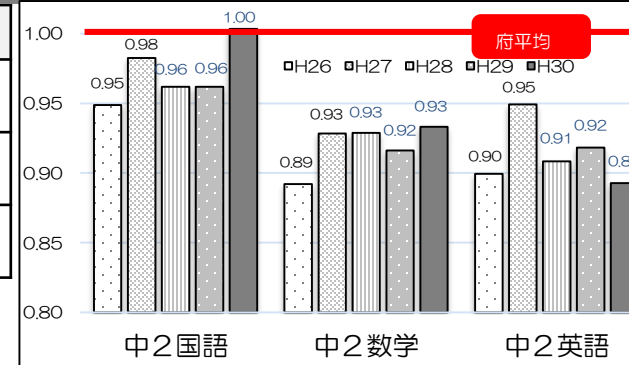


対府平均比とは、大阪府平均を1としたときの本市平均の値です。

2年生

教科別平均点・対府平均比経年比較及び同一集団での対府平均比経年比較

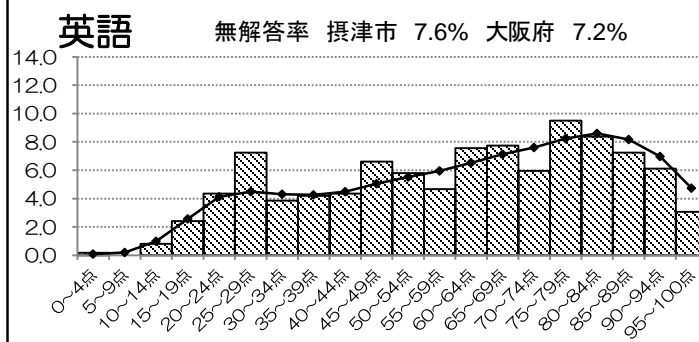
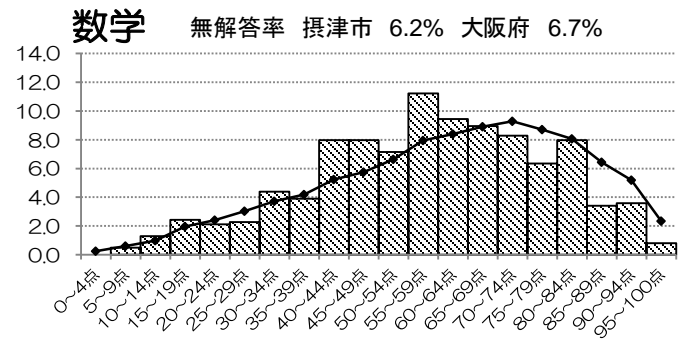
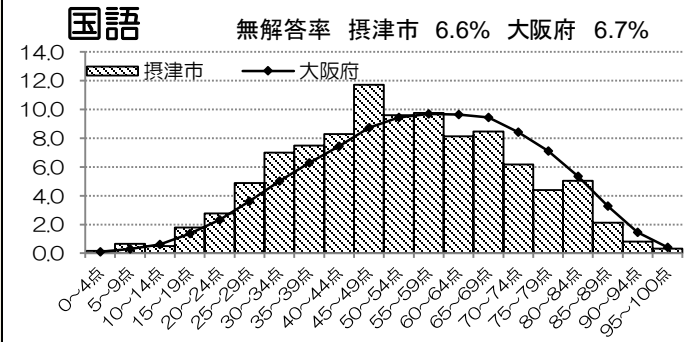
	国語	数学	英語
本市平均点	57.2	57.6	45.8
大阪府平均点	57.0	61.8	51.3
対府平均比	1.00	0.93	0.89



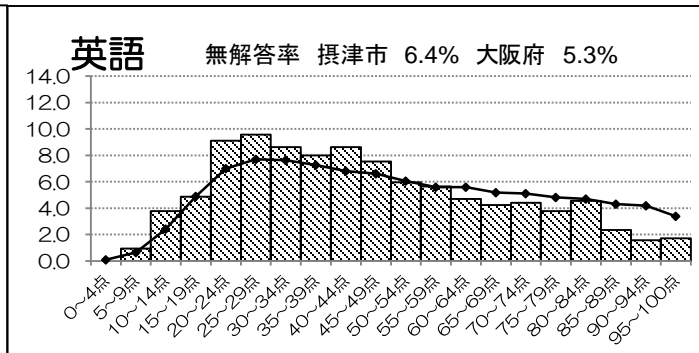
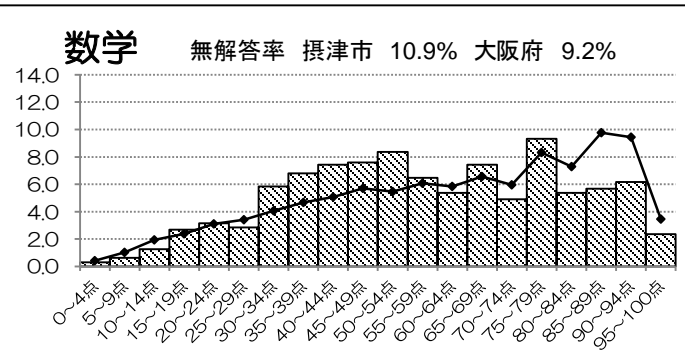
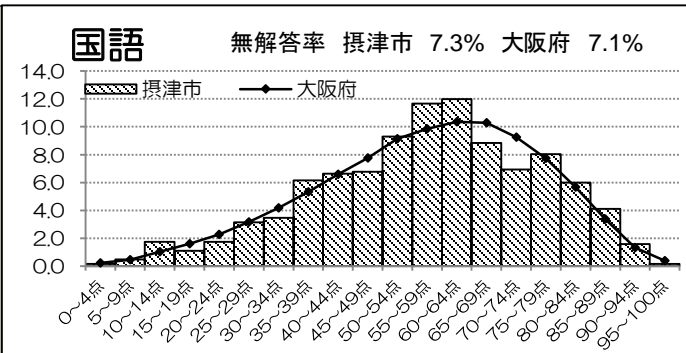
社会A問題、理科A問題を選択した学校がそれぞれ1校だったため、学校別の平均点が特定されることから、社会と理科の結果は記載していません。

教科別得点分布・無解答率

1年生



2年生



調査結果について

【教科別平均点・対府平均比経年比較】
 2年生の国語で初めて、府全体の平均点を上回りました。
 学年・教科別に見ると、1年生の数学と英語の対府平均比は、過去4年間で最も高い結果であり、1年生の英語は年々、府平均に近づいています。
 2年生では、国語に加え、数学でもわずかながら過去4年間の結果を上回っています。同一集団で比較しても、1年時よりも府平均との差は縮まっています。一方、英語については過去の2年生と比べても、同一集団の1年時と比べても、府全体との差が大きくなり、課題が残りました。

【教科別得点分布・無解答率】
 国語と1年生の英語では、得点分布が府の傾向と近似してきましたが、数学と2年生英語では上位層が少なく、下位層が多い傾向にあります。
 また、2年の数学と英語で無解答率が高いことも課題です。

今後に向けて

- 教育委員会では引き続き、各校の取組みへの適切な指導や助言を行い、成果を上げている学年・教科の好事例について市内全校で共有できるよう、以下のように支援していきます。
- 市全体の児童生徒の学力状況について分析し、各小中学校へ課題の周知を行うとともに、各校の「学力向上プラン」の進捗状況を確認し、指導・助言と支援を行います。
- 各校では、調査結果から一人ひとりの課題を分析し、指導します。教育委員会では、こうした取組みのための支援員等の派遣を継続していきます。
- 教員の授業力向上のための研修をさらに充実させるとともに、中学校区ごとの小中合同研修実施を支援し、義務教育9年間を見通した教科指導の充実を図ります。
- 平成31年度も摂津SUNSUN塾（小学6年生・中学1年生対象）を全中学校区で開催し、望ましい学習習慣の定着と学習機会の充実に努めます。

授業についての意識調査

生徒アンケートは、毎年同じ内容で各教科2問、授業についての質問項目があります。大阪府全体の傾向と比較することと、今年度の2年生が昨年度1年生であった時との比較のため、平成29年度1年生の結果も記載しています。

【授業の内容理解】

「授業の内容がよくわかる」という項目で、肯定的に回答した生徒の割合(※)を府全体と比較すると、1・2年生ともに国語と英語で割合が低く、府全体との差があります。

【教科の学習への主体性】

2年生の国語では、肯定的な回答の割合が府全体の割合をわずかに上回っていますが、他の学年・教科において府全体の割合を下回っています。特に、社会と理科では府全体との差が大きく、資料を整理したり、自分で考えて学習に取り組むことに課題があります。

2年生が昨年度1年生だった時の回答と比べると、数学・英語では大きく変化はありませんが、国語では、肯定的な回答の割合が高くなり、主体的に学習に取り組むことができている。

引き続き、このような質問項目で生徒の肯定的回答の割合が高まるよう、授業改善を進め、学習意欲の向上に努めます。

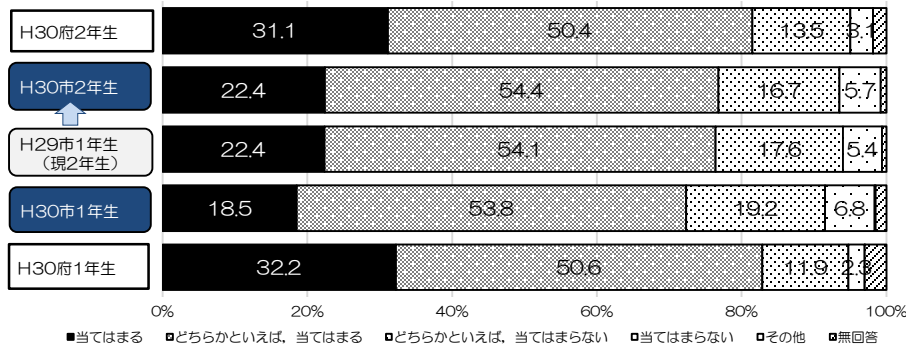
※肯定的回答の割合とは、選択肢のうちの「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計を表します。

大阪府全体のチャレンジテスト結果とともに、「ワークブック」や「かだめしプリント」などの学習ツールが大阪府Webページに掲載されていますので、ご活用ください。

- かだめしプリント
<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/chikarasyoukai/index.html>
- ワークブック
<http://wwwc.osaka-c.ed.jp/kate/karicen-folder/workbook-for-pref/workbook-index.htm>
- ことばのちから
<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/kotobanotikara/kotoba-katuyou.html>
- 中学生チャレンジテスト
<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/challenge/index.html>
- 大阪府公立高等学校入学者選抜の問題
http://www.pref.osaka.lg.jp/kotogakko/gakuji-g3/h30_gakken.html

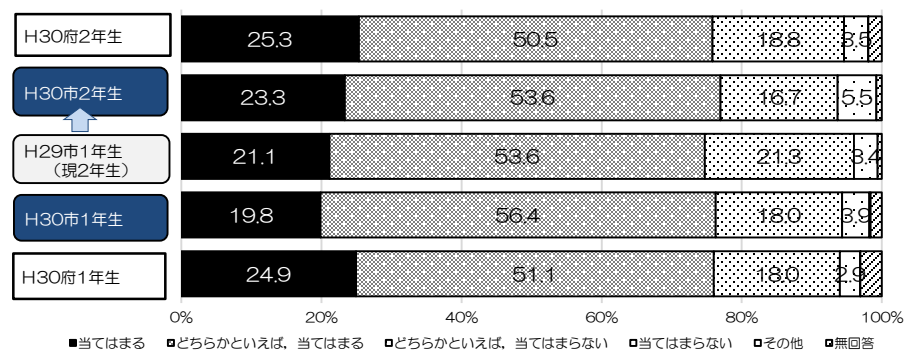
授業の内容理解

国語の授業の内容はよくわかる

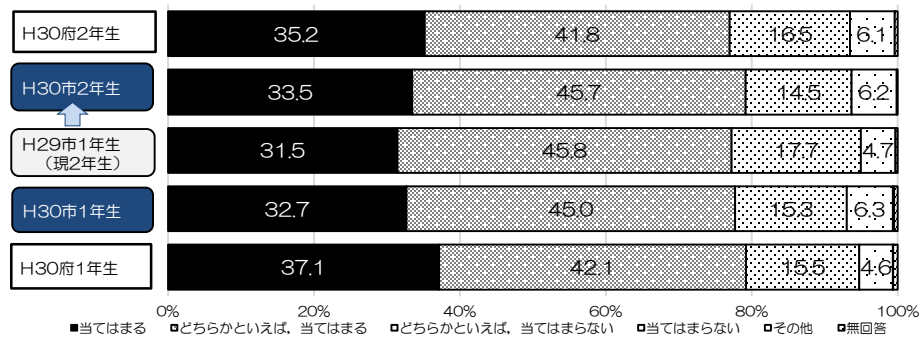


教科の学習への主体性

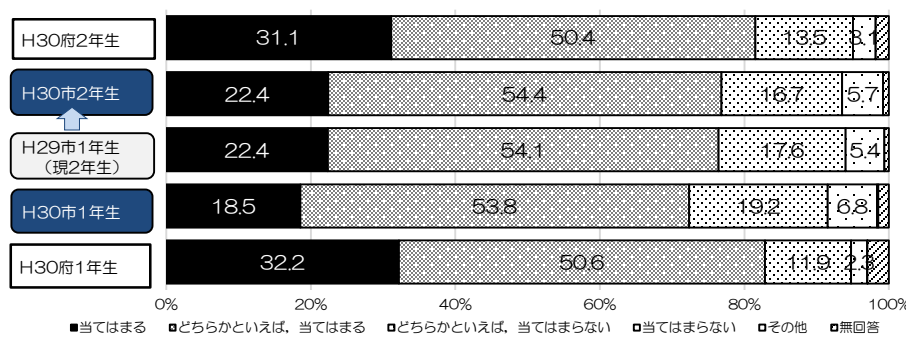
自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気をつけている



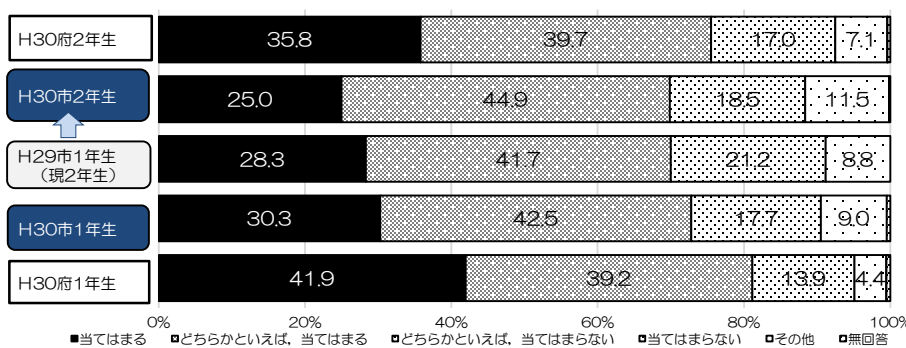
数学の授業の内容はよくわかる



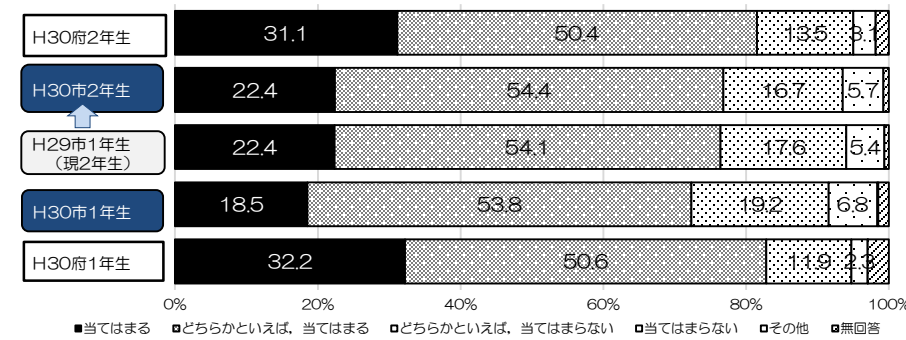
公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている



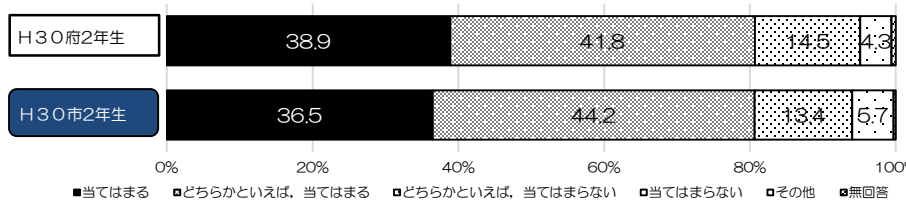
英語の授業の内容はよくわかる



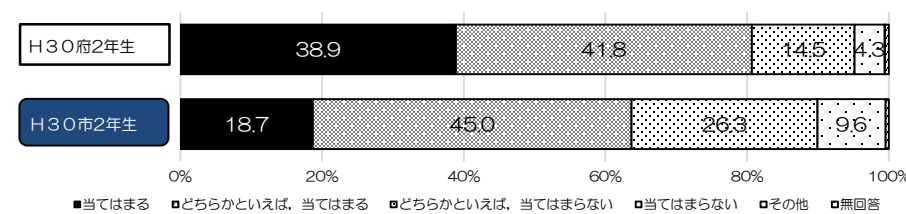
自分の考えを表現するとき、相手に伝わるよう工夫して話したり、書いたりしている



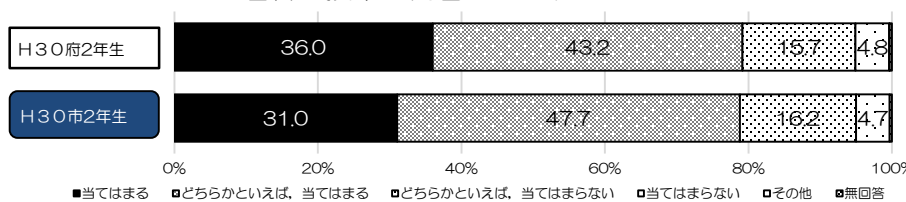
社会の授業の内容はよくわかる



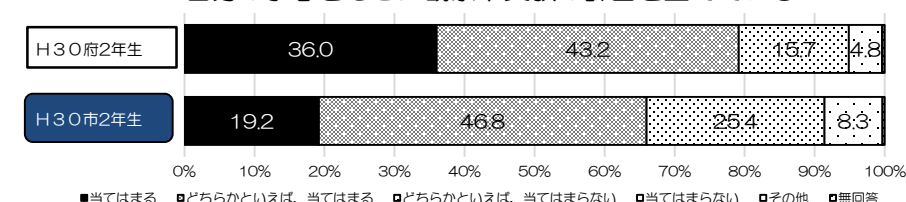
目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている



理科の授業の内容はよくわかる



自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている



国語

数学

英語

社会

理科